

卒業制作エントランスガーデンの改修

造園緑化コース

1. はじめに

本校の学生が2018年に卒業制作としてエントランスガーデンを制作した。しかし、現在のエントランスガーデンは、枯れてしまった植物が多く、樹木も伸びきってしまっており、園路に出てきてしまうおそれがあり、このガーデンをまた美しくするため、私はエントランスガーデンを改修し、よりよいものにしたいと考えた。先輩方が考えたテーマは、もっと近い未来をイメージでき、一日一日を大切にするという意味も込められた「明日」という単語から日本人でも世界中の人でもわかりやすいように英語に変換した「TOMORROW」である。先輩のデザインコンセプトを尊重し、どの国の人でも親しみやすい洋風のガーデンになるよう改修を行った。

2. 現況

以前植栽されていたコニファーが枯れ空いている場所ができたため、新たに植栽する必要がある。樹木は全体的に伸び切ってしまったものが多く、ローズマリーやヘデラといった低木・地被類は管理が必要である。ローズマリーの影響よりシルバーティーツリーの幹が折れ曲がっている。庭の中にあるベンチも釘が飛び出ており、座板が腐っている。

3. 設計

植栽はコニファーが植えられていた場所を土壌改良し、冬季の気温が低い可児市でも耐えられるようなハラン、ヒューケラ、ギボウシといった地被類を新植する。エントランスガーデンは、校内で初めに目に入りやすいので、すっきりと見せる剪定をする。また、メタセコイア下の円形ベンチといった他の卒業制作を見通せるよう、枝を透かし、植物と植物の間をあける強めの剪定をする。そして、老朽化したベンチも危険なので撤去する（図一1、表一1）。

4. 施工

コニファーが植えられていた場所の土壌改良は、バーク堆肥と有機質肥料を入れた。園路から見えやすいよう背の高い順に奥からハラン、ヒューケラ、ギボウシを植栽した。サンゴミズキは枝が乱れているため、根元から剪定をし、仕立て直した。ローズマリーとヘデラはステンレスの看板が見えるよう強めに剪定した。シルバーティーツリーは前方に倒れてため、支柱を立て、縛り、形を整えた。セイヨウイワナンテンは、2株あったもののうち1株を掘り取り、ベンチがあった場所に移植をした（写真一1、2、3）。

5. まとめ

今回初めて設計から施工までをひとりでおこなった。現地調査が不十分で何回も現地に行き、図面などを書き直した。現場が校内にあってよかったが、離れた場所であったなら大変だったと思う。施工も作業が遅く、また、剪定しなくてよい枝を切ってしまい、様々な

失敗をした。今後、随時、剪定管理と、向かい側にあるメタセコイア下の円形ベンチと対になるようベンチを制作してもらいたい。

表-1 改修方針

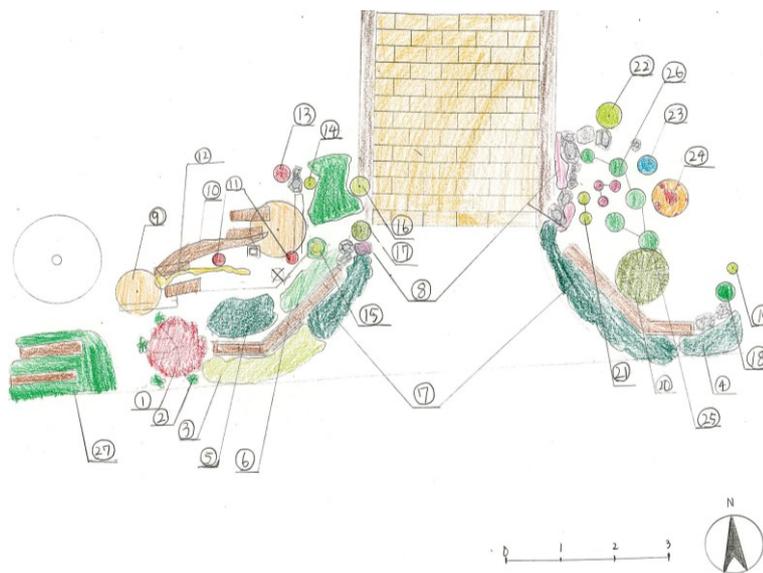


図-1 改修図



写真-1 完成前

、写真-2 完成後



写真-3 完成（全体）

①サンゴモミジ	剪定、枝数を減らす。 背を低くする
②クリスマスローズ	根元の掃除
③イワミツバ	根元の掃除
④ヘデラ	剪定、葉を減らしていく
⑤ヘデラ	強めに剪定
⑥ローズマリー	強めに剪定、根元が見えるように
⑦ハイビヤクシン	剪定、園路に出ているもの
⑧シバザクラ	現状維持
⑨ニューサイラン	剪定、葉数を減らす
⑩ベンチ	撤去
⑪セイヨウイワナンテン	剪定、一株移植
⑫スイセン	現状維持
⑬ヒメシャラ	剪定、表面を整える
⑭ヤブラン	移植
⑮ティーツリー	剪定、支柱を立てる
⑯カヤツリグサ	剪定、葉数を減らす
⑰ヒイラギ	剪定、園路に出ているもの、形を整える
⑱ホソバヒイラギ	剪定
⑲ギボウシ	現状維持
⑳イチイ	剪定、枯れ枝
㉑ギボウシ	植栽
㉒チャノキ	剪定、園路に出ないように
㉓アジサイ	現状維持
㉔マユミ	現状維持
㉕ハラン	植栽
㉖ヒューケラ	植栽